

集中治療部

■ スタッフ

部長		丸山	一男
副部長		藤岡	正紀
医師数	常勤		2名
	併任		0名
	非常勤		0名

■ 診療科の特色・診療対象疾患

集中治療部は、救命救急・総合集中治療センターと相互協力のもと、院内急変患者に対する救命救急対応（E-call）、院内重症患者の集学的治療、院外救急よりICU入床患者の加療、高リスク患者の手術後の管理等を中心に、各科と協力し治療に当たっています。

当科の特徴として、対象患者が多岐多様なため、専門各科と相互協力のもとに診断加療を進め、症例ごとに多角的かつ集学的な治療を行っております。

1. 診療対象疾患

1) 院外心肺停止症例

心肺停止患者のうち心肺蘇生された症例や、急性冠症候群に伴う致死性不整脈による心肺停止患者に対し経皮的な心肺補助装置（ECMO）の導入例の管理や、以後の脳保護のため体温管理療法をしています。

2) 高エネルギー外傷

Load and Go 症例に対する救命と、播種性血管内病変等の合併症の予防・治療を行っております。

3) 重症熱傷

重症熱傷、気道熱傷および心化学熱傷に対し、人工呼吸管理や輸液管理、感染症の治療を行っております。

4) 中毒

急性薬物中毒や一酸化炭素中毒に対し、呼吸・循環管理や透析による薬物除去を施行しております。

5) 重症感染症

播種性血管内病変を伴う重症敗血症に対し、吸着療法や持続血液濾過法を施行し全身状態の改善を目指しています。

6) 急性冠症候群

急性冠症候群や劇症心筋炎および重症心不全でECMO/IABP 施行症例を、循環器内科と協力し加療しています。

7) 急性期脳梗塞

脳神経外科、神経内科と共に遺伝子組み換え組織プラスミノゲンアクチベータ（t-PA）投与&血管内治療し、早期の症状の改善を図っています。

8) 腎不全患者

腎臓内科とともに血液浄化、持続的腎代替療法を施行し、血行動態の改善に務めています。

・ 9) ECMO センター

急性呼吸窮迫症候群（ARDS）に対するVV ECMOや重症心不全の体外循環としてVA ECMOの導入・管理も多症例に施行しています。適応症例の搬送にも広域化が可能となっています。

■ 診療体制と実績

1. 業務体制

24時間体制の診療に対し、常勤スタッフと各科から派遣していただいている専門医と共に診断治療をしています。また、各科専門医と共に医療にあたるため、各分野の知識や手技を共有することで集学的な治療が可能となっています。

災害発生時は災害救急医療センターと共にDMATの派遣と、重症患者受入れの後方支援センターを担います。

2. 診療実績

2017年

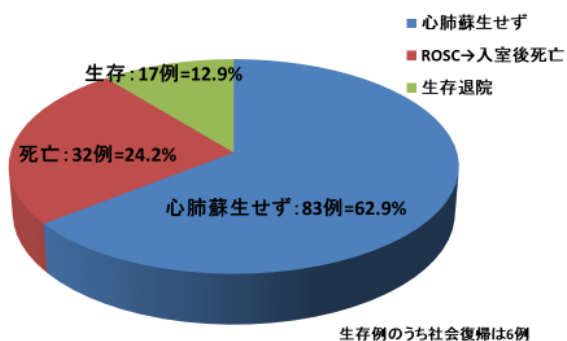
総入床数：1863件

救急車受入れ件数：1695件

救急よりのICU入床数：417件

ドクター・ヘリ運航数：191件

来院時心肺停止症例の転帰(2017年)



■ 今後の展望

救急科をはじめ各科と協力し、重症患者を多角的かつ集学的に加療することで、救命困難症例の予後を改善していきます。これらの経験を集約し、今後の本分野での知見を広め臨床研究を進めていきます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/bumon/icu/>